

帯広三条高 図書館員6人

校長と連携し活動推進

帯広大谷短大ビブリオバトル入賞

【帯広発】帯広三条高校の図書館はこれまで、お薦め本の紹介コーナーなどにおいて、合浦英則校長の協力を得た活動を展開している。11月に開催された帯広

大谷短期大学が主催するビブリオバトルの大会には、合浦校長と局員6人が出場し入賞を果たした。

同校図書室には、合浦校長が書籍の言葉を題材に自

身の経験をつづる不定期発行のエッセー『あうん』と共に、紹介された書籍を紹介するコーナーを設けている。傍らには校長の等身大パネルが掲げられ、図書館員との日常的な協力関係が表れている。

11月下旬に帯広大谷短大がオンライン開催した「知的書評合戦・ビブリオバトル」第6回学長杯には、1・2年生の局員6人と共に合浦校長が出演。それぞれ好きな本を持ち寄り、1人5分で紹介するビブリオバトルに臨んだ。

合浦校長が紹介した『坂の上の雲』（司馬遼太郎）がチャンプ本に、三戸部森理さん（1年）が紹介した『そして、バトンは渡された』（瀬尾まいこ）が準チャンプ本に選ばれた。作品内の言葉を導入に活用し、物語と高校

生活を重ね合わせた合浦校長の紹介に、生徒は「読みたいと思わせる発信力は、多くの経験から得たもののように感じ、自分も経験を積んで発信力を高めたいと思った」と目を輝かせた。初出場となった1年生は「即興で考えて話す力が身に付いた」と大会を振り返った。

合浦校長は「大人げないことをしてしまった」と笑いながらも「今後、生徒たちも惚れ込める作品に巡り合ってほしい」と話した。



本を手に笑顔を見せる合浦校長と局員